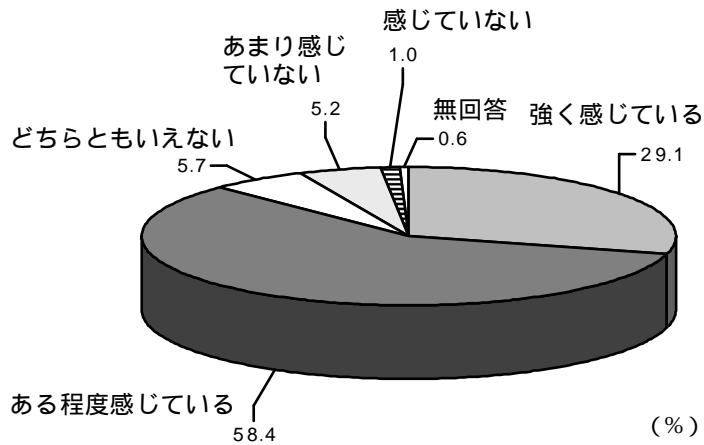


# 住まいの地震対策について

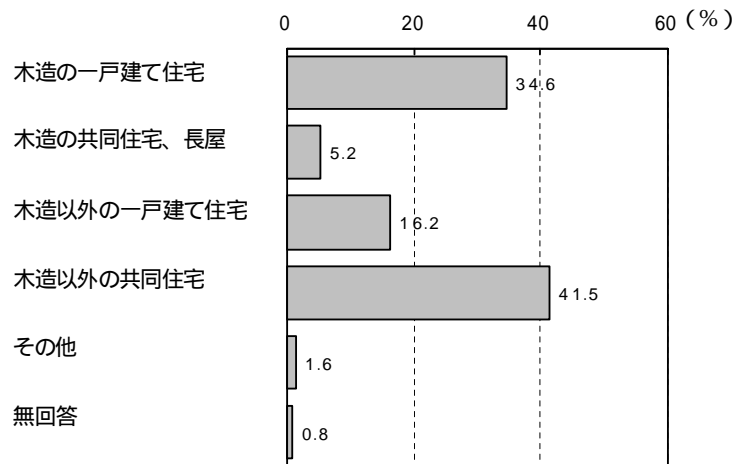
今年は3月に能登半島地震、7月にも新潟県中越沖地震（ともに震度6強）など大きな地震が起こり、古い家屋が倒壊するなど被害が出ています。本市も東海地震と南海地震が同時発生した場合、震度6強と予測されており、地震被害もはかりしれません。

そこで、市民の皆さまの住まいの地震対策に対する考え方をあたずねし、今後さらに建築物の耐震化を進める上での参考とさせていただきます。

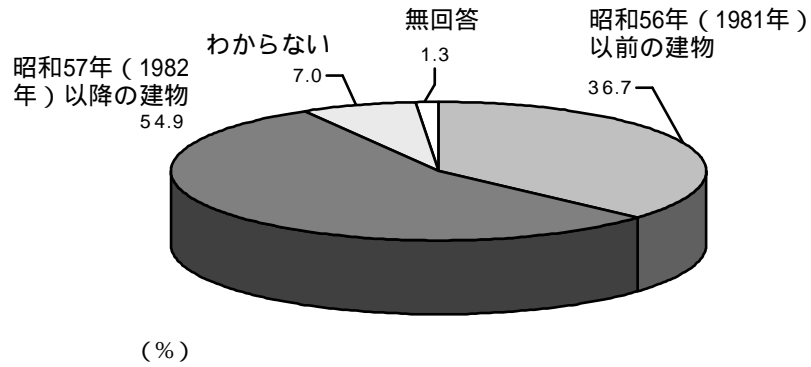
## 問9 近々大きな地震が起こるのではないかという不安を感じていますか。（1つだけ）



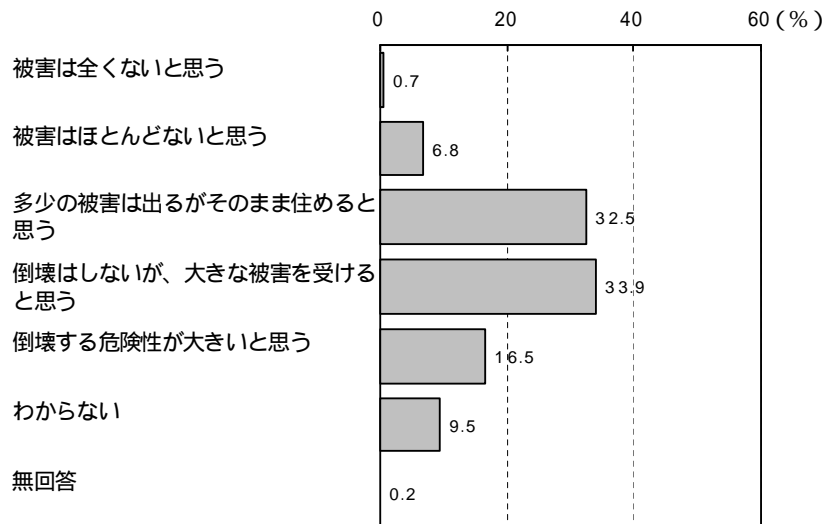
## 問10 あなたのお住まいは、次のどちらに該当しますか。（1つだけ）



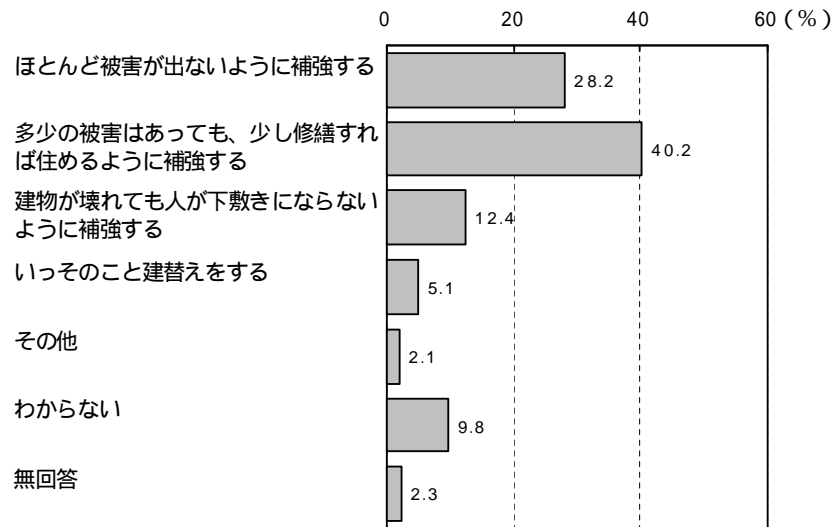
問11 あなたが現在お住まいの住宅の建築年について、あてはまるものを選んでください。  
 (増築等を行っている場合は、当初の建築年を選んでください。)(1つだけ)



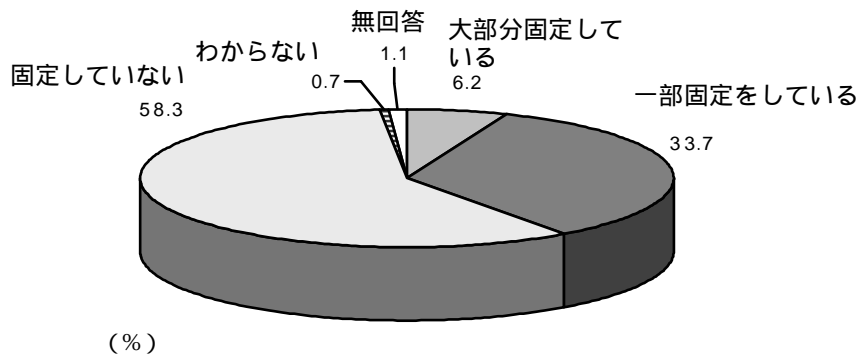
問12 大きな地震が起きた場合、あなたの住んでいる家は、どの程度の被害があると思いますか。(1つだけ)



問13 一般的に、住まいはどの程度耐震化すればよいと考えますか。(1つだけ)

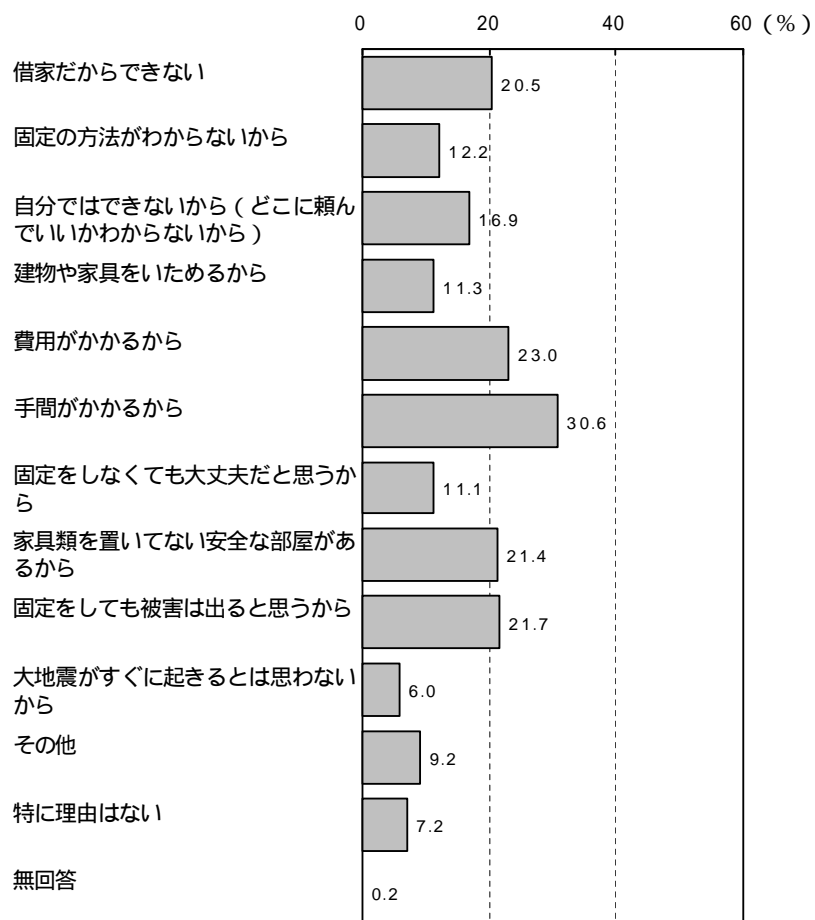


問14 お宅では家具の固定をしていますか。(1つだけ)



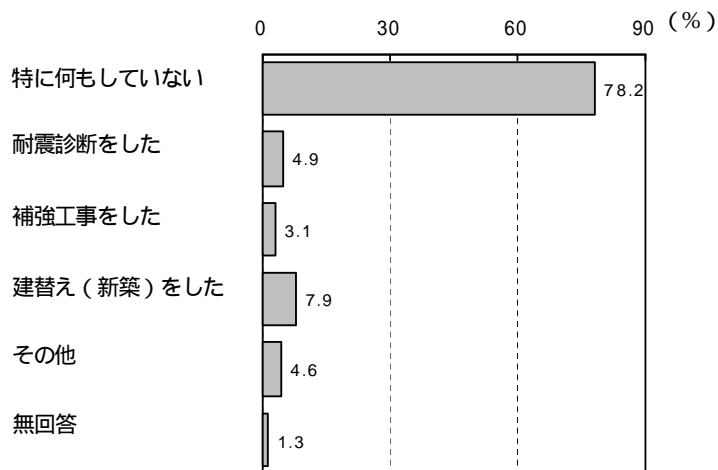
《問 14 で 3 と答えた方（固定をしていない方）におたずねします。》

問15 家具を固定しないのはなぜですか。（いくつでも）



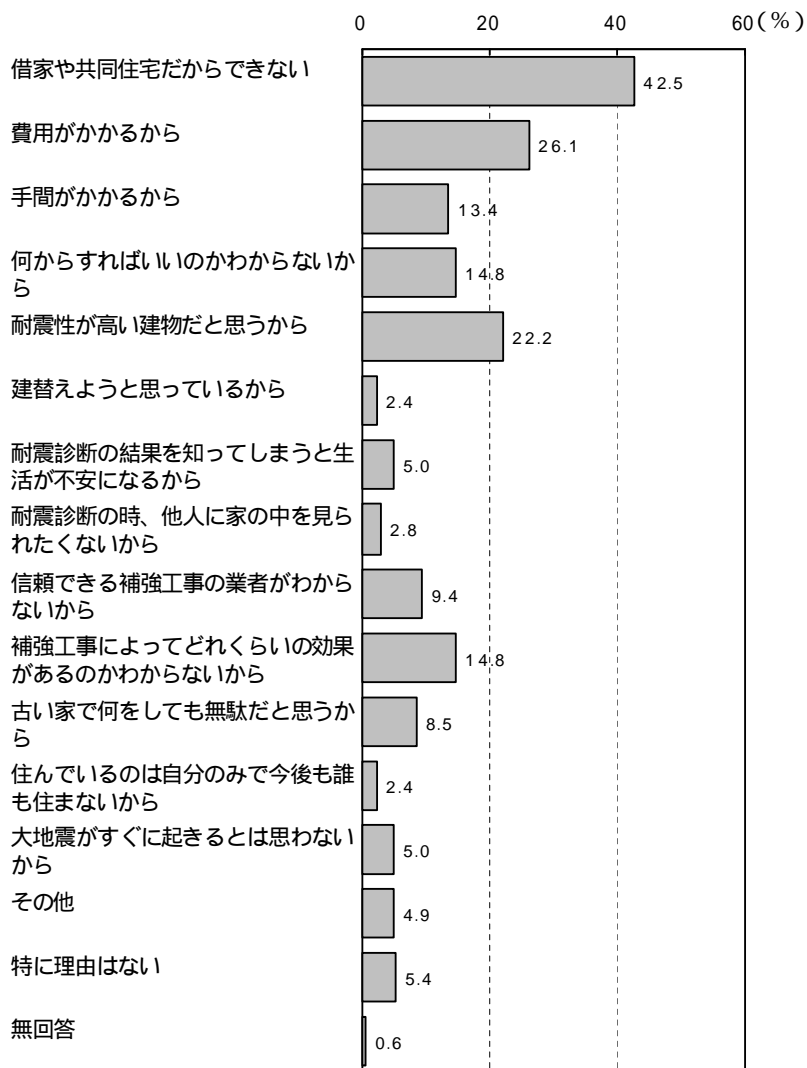
《すべての方におたずねします。》

問16 地震に備えてあなたがお住まいの家自体（建物自体）は、今までにどのような対策をしていますか。（1つだけ）



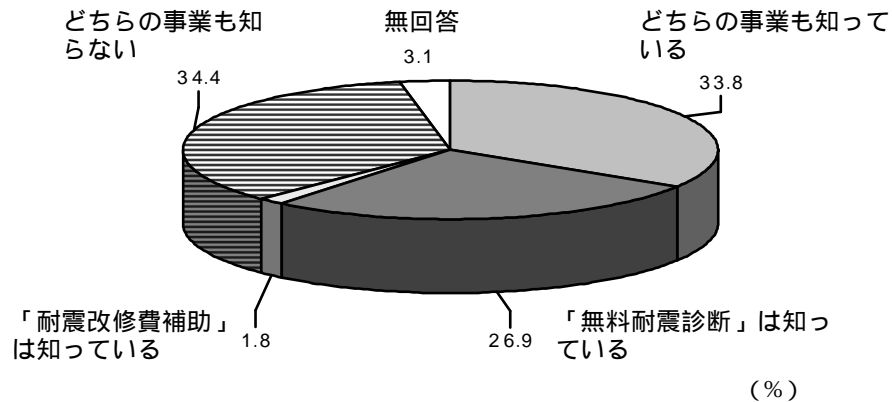
《問 16 で 1 「特に何もしていない」と答えた方におたずねします。》

問17 「何もしていない」理由はどのようなことですか。(いくつでも)



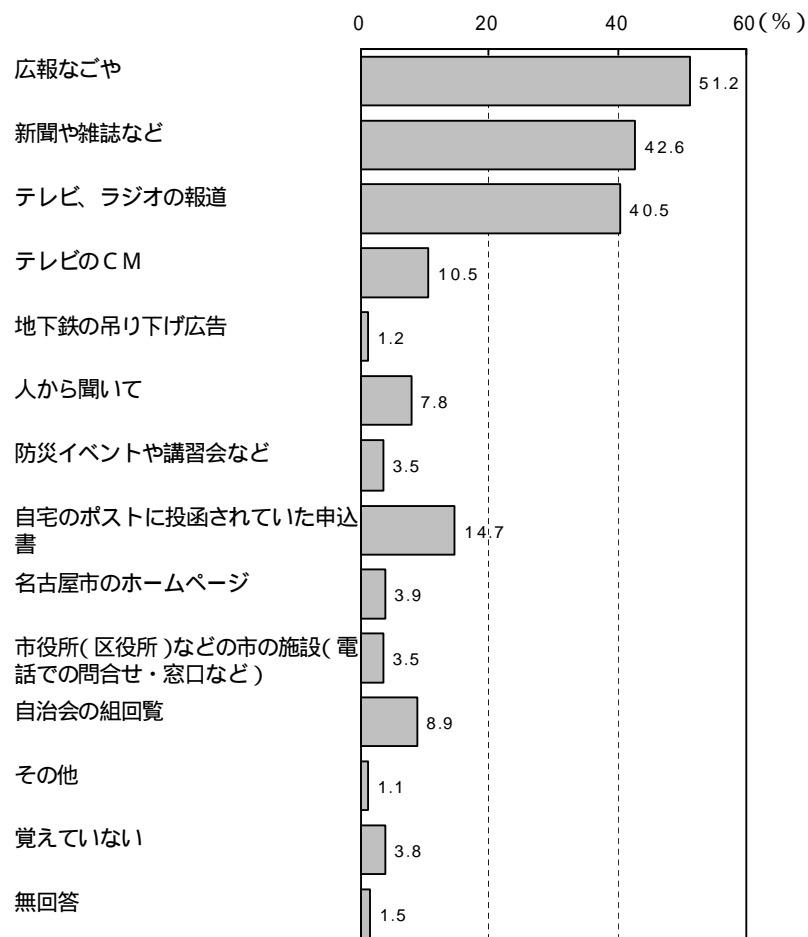
市建築指導課では住宅の耐震化を促進するため、昭和56年5月以前に着工した木造住宅(共同住宅、長屋も含む)について「無料耐震診断」と「耐震改修費補助」の事業を進めています。

**問18 あなたは、木造住宅の「無料耐震診断」と「耐震改修費補助」の事業をご存知でしたか。(1つだけ)**



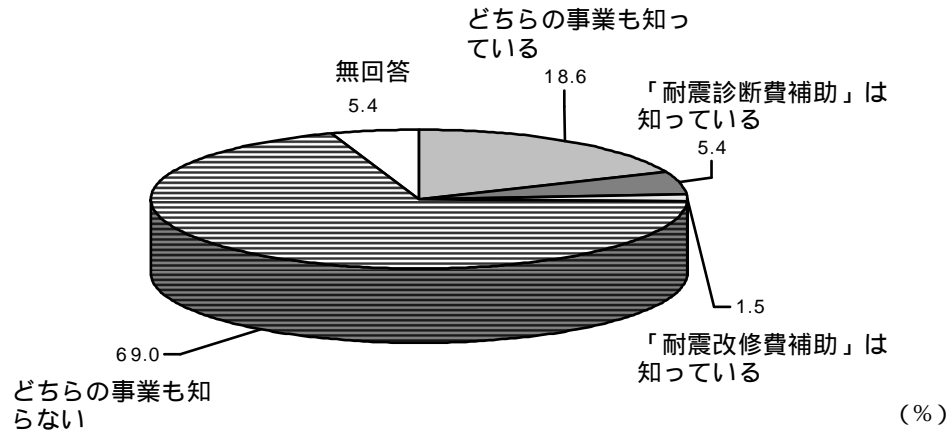
《問18で1～3(事業を知っている)と答えた方におたずねします。》

**問19 あなたは、どこで知りましたか。(いくつでも)**

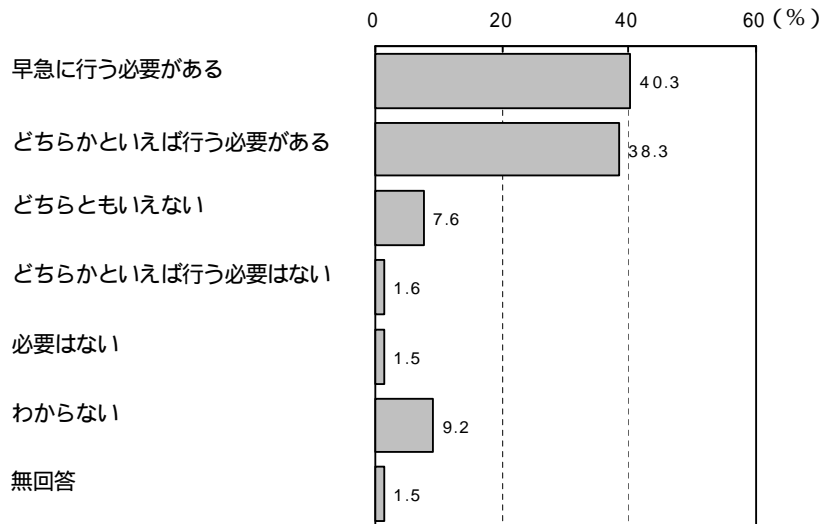


市建築指導課では、昭和56年5月以前に着工した鉄筋コンクリート、鉄骨造などの非木造共同住宅(マンション・アパート)について、平成18年度から「耐震診断費補助」、平成19年度から「耐震改修費補助」の事業を進めています。

**問20 あなたは、非木造共同住宅(マンション・アパート)の「耐震診断費補助」と「耐震改修費補助」の事業をご存知でしたか。(1つだけ)**



**問21 名古屋市では、これまで住宅の耐震化を進めてまいりましたが、幹線道路をふさぐ可能性のあるオフィスビルなどの建物にも耐震対策事業(耐震診断や補強工事費の補助など)を行う必要があると思いますか。(1つだけ)**



地震による建物倒壊は命を奪うだけでなく、幹線道路をふさぎ、避難や救援物資を運ぶ車両、緊急車両の通行の妨げになり、復興を遅らすこととなります。